



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題「原点回帰 ～All for Service～」

国際会長主題	「輝かそう あなたの光を」	Urlik lauridsen (Denmark)
アジア太平洋地域会長主題	「変革のための光となろう」	利根川 恵子 (川越)
西日本区理事主題	「未来に灯そう 希望の光」	深谷 聡 (名古屋)
中部部長主題	「みんなで参画」	松本 勝 (名古屋東海)
名古屋東海クラブ標語	『限りなき熱情を奉仕に』	

今月の聖句

奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。
(ローマの信徒への手紙 12章 7節～8節)

強調月間 Kick-Off PR

7月例会等ご案内

◎7月第1例会(クラブ総会・裸で語る会)

【クラブ総会】

日時：7月1日(土) 16:45～17:45
 会場：名古屋YMCA 5階
 担当：橋爪良和君・中江正典君
 開会宣言・点鐘：橋爪良和現会長
 ワイズソング 東海ワイズ5つの信条
 入会式
 22-23活動報告・決算報告
 会長引継ぎ
 23-24活動計画・予算
 閉会宣言・点鐘：中江正典新会長

【裸で語る会】

日時：7月1日(土) 18:00～
 会場：浜金 池下駅北 TEL 751-7021
 会費：5,000円程度

◎7月第2例会

日程：7月20日(木) 19:00～
 会場：名古屋YMCA

◎第27回中部部会

日時：9月23日(土・祝) 12:30～16:30
 会場：アイリス愛知
 会費：10,000円
 プログラム

語り継ぐ：「戦艦大和と乗組員」
 語り部：里見まさと氏(ザ・ぼんち)



東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 6月末一在籍者 18名
(内広義会員 2名)

出席者 14名 (Make up 0名)
 出席率 87.5%

【特別ファンド】

6月のニコボックス +12,250円
 区大会準備金関係 -170,220円
 現在保有額 1,237,405円

7月第1例会報告

『認知症の診断と治療』

講師：真鍋孔透君

本日の講師は本クラブメンバーで真鍋内科院長の真鍋孔透（よしゆき）君。日頃、認知症と思われる患者さんとどの様に向き合って診断、治療をされているかを詳しく聞くことが出来ました。



認知症とは「一度正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために社会生活に支障をきたす状態」とのこと。こういう症状は加齢や内科・外科の病気を起因するものが色々あり、その元を治療すれば良くなるが、原因が良く分かっていないのがアルツハイマー型認知症。この認知症にはコリンエステラーゼ阻害剤が使用されるが、原因がはっきりしていないので、あくまで対処療法ということになっている。



症状としては認知機能、記憶・学習の障害、判断力低下、不安、幻覚、妄想、うつ症状、徘徊、暴力、大声等々様々にあるが、介護者や周囲の人が否定的な対応をしたり、怒ったりすることは決

して良い結果は生まない。

徘徊防止に睡眠剤の投与を求められることがあるが、睡眠剤は万全ではなく、朦朧として起き上がると転倒したりかえって危険。

1. 認知症は進行性の疾患。薬の効果は限定的
2. 認知症患者の携わる人々が認知症を理解し、周囲が適切に認知症患者に対応し、環境を整えることが最も重要。
3. 症状が進行しても、周囲の対応次第で、その人らしく穏やかに生活することが可能。
4. 認知症の患者さんが、その人らしく、穏やかに最期まで生活できるよう、周囲が見守り、支えることが出来る社会を目指しましょう。

と締め括られました。



永瀬菊枝さん3回目出席となりました

質疑のなかで、「予防法はあるか？」との質問に、社交的に話し合ったり、刺激しあうことはとても大切で、ワイズのような交わりの機会は最高とのこと、また運動はとても効果があると。

また、物忘れと認知症は別物とのこと。忘れたことを認知している間は大丈夫のようです。ちょっと安心しました。（松本）

【参加者】浅野、太田、木村、柴田、鈴木、谷口、中江、橋爪、松本、真鍋、山田、山村山本、鷺尾 【ゲスト】永瀬さん

6月第2例会報告

1. 熊本の西日本区大会報告に参加した橋爪会長より報告があった。

2. 総会（裸で語る会）の件

7月1日（土）16時45分から名古屋YMCAにて開催することとした。また、永瀬菊恵さんの入会式を行うことを確認。議事終了後の食事を池下駅北の「浜金」にて行う。会費5,000円程度

3. 新年度予算について

区費は年額18,000円/1人。次年度のチャリティーラン、クリスマスカードコンテストの支援金は従来通り一般会計より支出することを確認した。

4. 第27回中部部会

柴田準備委員長のもと、プログラム・役割分担等の確認が行われた。

（松本）

【参加者】浅野、太田、柴田、谷口、中江、橋爪、松本、山田、山村、鷺尾

西日本区大会に参加して

2023年6月10日（土）～11日（日）と熊本城ホールを中心に行われた第26回西日本区大会にわがクラブからは橋爪会長、浅野君、松本が参加しました。



田上理事長の開会宣言・点鐘の前に若者によるオープニングスピーチがありました。そのスピーチをした一人、ふるさと元気こども食堂代表宮津航一君（熊本県立大学2年生）は『こうのとりのゆりかご』に預け入れられた当事者でした。

メモリアルアワー、認定NPO法人ロシナンテ

ス理事長川原尚行氏による講演会「スーダンに再び笑顔を～いま、私たちにできること」、年次報告、部長報告等の後に、奈良傳賞が大阪センテニアルクラブ谷川寛氏に贈られた。

会場をホテル日航熊本に変え、懇親会が行われましたが、冒頭「くまモン」が登場し、630名以上の参加者を賑やかにしてくれました。



来年名古屋で開催する27回西日本区大会のアピールも実行委員委員長を中心にしっかりしてきました。また久々に奈良クラブの皆さんともお会いすることが出来ました。



表彰ではYMCAサービス・ユース事業最優秀クラブ賞を在名4クラブが受けました。



理事・役員引継式では田上正理事から深谷聡次期理事に引継が行われ次期役員も気を引き締める一瞬でした。閉会宣言では田上理事の深い思いが皆に伝わったような気がしました。（松本）